

いのちのリレー

大崎市立古川第一小学校 1年 氏 家 倅

ぼくは、ごはんを食べるとき、まいにち「おいしいごはんを、いただきます。」と、たべおわったら「おいしいごはんを、ごちそうさまでした。」をいいます。

それは、ぼくがおおきくなるために、おにくや、おさかな、やさいの、たいせつないのちを、いただくからです。

おこめの、ひとつぶにも、ひとのおもい、ころろがたくさんつまっているとおもいます。だからぼくは、のこさないように、たべれるぶんだけ、たべるようにしています。

はしのもちかたや、おちゃわんのもちかたがへんだと、おこられて、いやなきもちになるけど、たべるときのだいじなことだから、すぐなおします。それが、いのちをいただいているマナーだと、おしえてもらっているからです。

まだ、ちゃんとできてないけど、がんばります。おとなになって、「きれいな、たべかただね。」といわれたいです。

おいしいものを、わらってたべると、すごいきぶんがよくて、おいしいです。

わらいながらたべると、からだど、ころろのえいようにもいいとおしえてもらっています。

だから、わらいながら、おいしくたべて、おおきくなっておとなになったら、たべもののたいせつさをおしえるいのちのリレーを、つたえたいとおもいます。